



第73号 2007年 1月

発行：萩ネットワーク協会  
 〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内  
 TEL0838・25・3178 FAX0838・26・5458  
 萩ポータルサイト「萩・情報の駅」  
<http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/portal/>

06年秋、映画「長州ファイブ」が全国に先駆けて、山口県と福岡県で封切られました。国禁を犯して英国留学し、「生きた器械」となって我が国の近代化の礎を築いた若者たちの生き方は、我々に多くの教訓を与えてくれます。

いよいよ2月10日から全国公開が決定し、東京・千葉・大阪・名古屋などで上映（上映館は3ページ）、2月から3月にかけて順次全国で上映されます。皆さんも是非ご覧ください。

写真は、1863（文久3）年にロンドンで撮影されたもの（萩博物館蔵）。遠藤謹助（左上）、井上馨（志道聞多・左下）、井上勝（野村弥吉・中央）、伊藤博文（伊藤俊輔・右上）、山尾庸三（右下）

—幕末の世、日本の未来のために刀を捨てた、サムライがいた—

**映画「長州ファイブ」**

**2月10日から全国公開！**



目次	
ふるさと文学散歩④ 萩の独楽廻し	P4
堀田誠・平井恒夫	P5
剣先イカの活イカパック	P6
ズームアップ「安藤 明」	P7
萩の風物詩① 年末年始	P10,11
夢追人「吉田幸良」	P14

「萩城・城下町と明治維新遺跡群」  
「九州・山口近代化産業遺産群」  
世界遺産候補に提案



世界文化遺産の登録に向け、萩市から「萩城・城下町及び明治維新関連遺跡群」、「九州・山口の近代化産業遺産群」（萩反射炉など）の2件が候補として文化庁へ提案されました。

「萩城・城下町及び明治維新関連遺跡群」は、萩城跡、萩城城下町、伝統的建造物群保存地区、旧萩藩校明倫館、松下村塾など54の文化財で構成、近世城下町の町割・建造物が広範囲に残る都市遺産や明治維新胎動の地を提案のコンセプトとしています。萩市と山口県が共同提案。

「九州・山口の近代化産業遺産群」は、山口県と九州5県の共同提案で、三池炭鉱など近代化産業遺産13件のうち、山口県で唯一、萩反射炉が盛り込まれています。

世界文化遺産候補は、今年度と来年度の2年間に限り全国の自治体から募集し、全国から26県の24件が提案されました。文化庁は、07年1月中旬に審査・選定した候補一覧をユネスコ世界遺産委員会に提出します。

来てみいね！住んでみいね！

萩ふるさとターン応援団



萩市では、団塊世代等のUJターンを促進する「萩ふるさとターン応援団」の一環として、昨年8月に「空き家情報バンク」を開設し、萩市内にある空き家を移住希望者の住まい（賃貸・売買）として利用できるような情報提供を行っています。

空き家情報バンクで移住実現！

このたび、市外在住の2世帯が、空き家情報バンクを利用して萩市への移住を実現されました。

○広島県三次市のAさんご夫妻  
中古住宅を購入。退職後定住予定

○周南市のBさんご夫妻  
賃貸住宅を契約。12月末に転入

萩へのUターンをお考えの方へ

定住総合相談窓口では、Uターンを検討されている皆さんのサポートをさせていただきます。お気軽にご相談ください。

空き家物件募集中！

毎日のように寄せられる「萩

市への定住」相談の多くが「住まい」に関するものです。そういった声にこたえるため、空き家情報バンクを充実させたいと考えています。

萩市内の空き家を貸したい、売りたいとお考えの方は、ぜひご連絡ください。

◆空き家情報バンク登録物件  
19件（うち2件成約済み）

問い合わせ

定住総合相談窓口

（萩市企画課内）

TEL：08388-2553819

Eメール：teiju@city.hagi.yamaguchi.jp

定住支援ホームページ

<http://www.hagicity.com/teiju/>

teiju/

新年のごあいさつ



萩ネットワーク協会会長  
萩市長 野村興兒

長州ファイブの志を萩の発展に



昨年、映画「長州ファイブ」が全国に先駆けて、県内で封切られました。国禁を犯して英国留学し、「生きた器械」となつて我が国の近代化の礎を築いた若者達の生きざまは、我々に多くの教訓を与えてくれます。

旧年も多事多難、様々な出来事がありました。現職総理の初めての松下村塾訪問、山口県出身の八幡目の総理誕生、スポーツ・文化の全国大会で大活躍など思い出に残ることも数々ありました。

道路開通による交通の流れに変化

昨秋の県道萩川上線の開通や国道262号バイパスの今春の開通により、市内の車の流れは、大きく変わります。更に来年度末には、萩・三隅道路の三隅・明石間が完成の見込みで、萩・長門間の所要交通時間が大幅に短縮となります。

萩を南北及び東西に結ぶ基幹自動車道の小郡・萩道路や山陰自動車道の整備は、将来の萩にとって必要不可欠のものです。

またこの萩の地で先達が厳しい逆境にありながら、常に創意工夫に努め、チャレンジ精神を発揮され、藩政時代の「長州の四白」（米・塩・紙・ろう）による殖産事業、疲弊する維新以降の萩での夏蜜柑の植栽事業、戦後の混乱の中で引揚者が中心となった木材・竹材関係の多彩な事業の展開。

今、萩の経済は引き続き閉塞感が強い状況にあります。こういう時こそ、チャレンジする企業家精神が必要です。志をもって起業・創業等の努力が大事な時ではないでしょうか。

末尾となりましたが、会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

# 映画「長州ファイブ」

## 2月10日に全国公開決定！

関東・大阪・名古屋で上映

### 2月10日公開の映画館

- 関東 シネマト六本木（日比谷線六本木駅）、ワーナーマイカルシネマ板橋（東武東上線東武練馬駅）、立川シネマシテイ（JR線立川駅）、京成ローザ（京成電鉄千葉線千葉中央駅）
- 大阪 シネマト心斎橋（地下鉄御堂筋線心斎橋駅）
- 名古屋 中川コロナシネマワールド（安城コロナシネマワールド）
- ※その他、新宿・川崎・埼玉・広島・鹿児島などの映画館でも上映を交渉中
- ※2〜3月にかけて、全国約50館で上映を交渉中

「なぜ今ファイブなのか？」  
じゃなくて「今だからこそファイブ」なんです。

### 監督インタビュー

今「長州ファイブ」を選んだのは、今の時代とダブるからです。ファイブが生きた時代と、このどうしようもない2006年とが。

若い人たちが何をやっていいかわからなくなっている。可哀想ですね。情報が溢れて迷っているんです。選択肢がありすぎるから、「自分が何をしたいか」「どうやって生きていけばいいのか」見えなくなってる人が大勢いる。

そんな彼らこそ「長州ファイブ」という生き様をぶつけてみたいと思ったんです。



出演：松田龍平、原田大二郎、泉谷しげる  
監督・脚本：五十嵐匠  
119分

## 市民号

萩市では、映画「長州ファイブ」の全国公開に合わせて、1月11日から13日までの3日間、東京での長州ファイブの功績をたどる市民号を企画。市内から応募した約35人が野村萩市長らとともに参加します。

市民号は、現在「長州ファイブ・東京展」を開催している三（工学の父）と井上勝（鉄道の父）を中心に、萩博物館所蔵の实物資料や写真パネル等を紹介しています。是非一度この展覧会に足を運んでみてください。

■ところ 台東区上野 国立科学博物館・新館2階（JR上野駅公園口から徒歩3分、西洋美術館の後側）  
（03-3822-0111）

■会期 1月14日（日）まで  
■開館時間 午前9時〜午後5時（入館は午後4時30分まで）  
■休館日 毎週月曜日（日・月曜日が祝日の場合、火曜日）  
■入館料 一般・大学生500円、小・中・高校生無料

## 東京の長州ファイブの地へ



▶東京各区内之内  
芝金杉橋遠景（錦絵）

国立科学博物館で「長州ファイブ」東京展を開催中！

2006年  
萩市のニュース

●萩まちづくり懇話会を開催（3月）

10月から06年3月にかけて、東京・大阪・福岡で開催。萩出身者等から、新「萩市」のまちづくりや地域振興について提言

●萩商工高校が開校（4月）

県立高校の再編整備計画により萩商業と萩工業が統合し、新たに「萩商工高等学校」が開校。一期生210人が入学

●萩市定住支援サイト

「萩ふるさとターン応援団」を開設（8月）

団塊の世代を対象にしたUJ Iターン希望者の定住を促進するため、相談窓口を設置

●萩国際大学が07年4月から山口福祉文化大学に（8月）

萩国際大学が、07年4月から山口福祉文化大学に改称し、社会福祉系のライフデザイン学部を新設、新しくスタート

●映画「長州ファイブ」が

県内先行上映（10月）

●新「萩市」の市民憲章、市の

木花・果樹・生物を制定（11月）

木は「ヒノキ」と「マツ」、

花は「ツバキ」と「ハギ」、果

樹は「ナツミカン」、生物は「ホ

タル」に決定

# 「萩の独楽廻し」と

## 永松定



(昭和45年刊)



小野の独楽廻し(昭和22年)

萩の町の外観的な紹介はし  
ばしばし目にするが、生活  
風景や市井の人々の暮らしぶりを  
描いた作品はそう多くない。

永松定の「萩の独楽廻し」は  
戦後間もない頃の萩の風情を知  
る上でとてもユニークな作品だ。

主人公は何の変哲もない萩に住  
み、「ヨソモノ」としての体験  
の中で、萩のまちの様子を観察  
し馴染んでゆく。新入者が最初  
に感じるのは、萩地方独特の季  
節感だ。彼は言う「萩で一番気  
候のいい頃は、春から夏にかけ  
てである。(略) 秋もとうやら、  
せいぜい九月一杯までだ。十月  
の中頃、萩駅近くの通称、天神  
さんの祭りというのがあつた。そ  
の頃からもうバラバラと降り出  
す時雨が霰(みぞれ) 始めるの  
だ。」

永松は熊本出身だが、東  
京で教師のかたわら作家

路と同じ高さの部屋が一階とす  
れば、その下に必ずと言ってい  
いほど、地下の部屋、または物  
置と言ったようなものがくつつ  
いていた」と。物語はここで織  
りなす向こう三軒両隣の人々の  
生活ぶりである。

「煙草屋、次が警視上りの  
老夫婦、次が何かの家伝の葉を  
売り歩くという小柄な老人夫婦  
その次はもう私の家の真向かい  
ということになり、そこには南  
方で戦死したという海軍少将と  
かの遺族で、婆さんに四十前後  
の色白で上品だが少しケンのある  
未亡人と女学校に行っている  
のを頭に娘四人という女ばかり  
の家、その隣が、このお話の主  
人公、有名な萩の独楽廻しの小  
田森一郎の家、次は中学校の  
老小使の家、次がベッコウ屋の  
これまた老夫婦・・・」こうし  
た住人たちの日常生活が活写  
される。残念ながらこの一帯は

けえンタ、何々でありますノ  
ンタ、と言う具合に」

主人公はこうして萩の町にと  
け込んで行くのだが、小田森一  
郎という独楽廻しとの出会い  
は特別だ。彼は、このあたりで  
名の知れたテキ屋の親分で、祭  
りの時の露天商人の縄張りを決  
めたり、市場の監督取締りの役  
もしているオツカナイ男なのだ  
が、どういふわけか作者は恐る  
恐るもこの親分と親交を結ぶの  
だ。小田森を知るほどに興味が  
深まり、作品では教師とテキヤ  
の得も言われぬ交遊とその顛末  
を、小田森の独楽廻しの実演を  
クライマックスに据えてしめく  
くる。

「正月の二日に私の家で小田  
森一郎が独楽廻しの実演をし  
てみせるという話がすぐさま伝  
わって、その日になると、朝か  
ら近所近辺の女子どもがそれ  
を見ようとつめかけてきた。」

イツという叫びとともに、左足  
が一步前に踏み出され、右足が  
半歩ほど後ろにひかれると同時  
に腰が下ろされ、小田森の筋骨  
隆々たる腕が眼にもとまらぬ早  
さで前後に一回転して、差し渡  
し一尺ほどの大独楽は、一問ほ  
ど先の中宇に飛んだかと思うと、  
そのまま差し出された小田森の  
右手の掌に、じいっと止まって  
静止している。独楽は微かな唸  
りを生じながら、見た目には微  
動だにせず、あたかも静止して  
いるかのように見える。いわゆ  
る「眠り」に入ったのである。

このとき、見物の子女の間に思  
わず感嘆の溜息が漏れた。また  
またエイッという掛け声とも  
に大独楽は一問ばかりも飛び上  
がり、今度は左手に受け止めら  
れた。」

こうして独楽は小田森のおも  
いのまま自由自在に回り続け、  
観客の感嘆のなか最後は抜き身

制萩中学の青年教師・永松定の  
こともまた70代となった教え子  
たちは憶えている。

「独楽廻しは、学校帰りに見  
物するのが楽しみでしたよ」  
「だみ声の口上が今でも耳に  
残っています」

永松先生については「ヌー  
ボーとしたおおらかな人とし  
た」「教壇では話が度々脱線し  
たけど面白かったね」「先生は  
たしか東大出の作家でしたよ」  
「(ジョイスの) ユリシーズを翻  
訳した人でしたな」  
教え子の右田忠司(76)や山  
本孝夫(76)、森悦健(74)、村  
田昌志(73)らは目を細めて遠  
い日に思いを馳せる。

永松は戦中戦後の萩の人々  
の実生活の断面を繊細な  
活字表現で切り取ったのだが、  
半世紀を経た今、永松は巧まず  
して「戦後の萩」をセピアの風

## 秩父宮章 受章

陸上指導者  
堀田 誠さん



萩市川島在住の堀田誠さんが、日本陸上競技連盟（会長：河野洋平）から日本陸上競技の最高章である秩父宮章を受章されました。

堀田さんは、昭和32年から24年間、陸上競技部の監督として萩高校（昭和37年～55年の19年間）などを全国高校駅伝大会で10回入賞（最高3位）に導いた後、山口県教育委員会で維新百年記念公園陸上競技場（山口市）の建設に関わったほか、国体強化の責任者として県陸上チームに好成績をもたらしました。

また、全国レベルの陸上大会である「田島直人記念陸上競技大会」の企画・運営にも中心的役割を果たすなど、約50年間、陸上競技の指導者として選手の育成強化に貢献されました。

「多くの方の指導、支援のおかげです」と堀田さん。萩に帰省後も「萩のために何かしたい」と、「萩城下町マラソン大会」の創設にも貢献。現在も、山口県陸上競技協会副会長として県の陸上の発展に尽力されています。

活動をし、昭和17年から23年にかけて旧制萩中学の英語教師を務めた。作者自身を投影した主人公が住んだのは「南片河町六十九番地」で、作中描写によれば「そこは萩城の外堀のひとつで、河になっていたわけである。その路地の西側の家は崖とすれすれに建っているの、道

いま外堀の改修と道路の拡幅工事の進捗でスッキリ整備されて昔日の面影はない。

**主** 人公は萩の人々を観察し言葉にも興味をもつ。

「そしてネエ、あなたネエ君とでも言うべきところにノントとよく言った。」（略）「何々じゃ

「小田森仁一郎は両足を大きく踏ん張った。眼は座敷の端の鴨居と天井の間ぐらいのところに、強く据えられたまま動かない。そのとき、瘦せて小柄の小田森の体が、みるみる仁王みたいに大きくなって、座敷一杯に立ちほだかるかのように見えた。たちまち居合い抜きのようなエ

の刃渡りで大団円となる。  
**都** 会人の永松にとつて、歴史風土に染められた萩の人々との生活は新鮮な経験の連続だったようで、作中表現は細やかだ。小田森は実名ではないが実在した人物で、いまでも市民の間で語り継がれている。旧

景に閉じ込めたともある。作品を読んで永松が描いた作中のそこそこを散策すると、変わりゆく萩の風情にあらためて心動かされる。  
高井 誠（エッセイスト 日本ペンクラブ会員）

## 現代の名工 受賞

高級和すだれ  
平井恒夫さん



機械が進む中、手作業にこだわり、日本で唯一のすだれ職人として高級な「御座敷すだれ」を作り続けています。ひご作りは恒夫さん、編むのは妻の和子さんの役割。「どちらがかけても出来ない仕事。受賞は嬉しいし、妻と2人でもらったようなもの」。

全国的にも良質の竹と折り紙のついた萩産の「真竹」にこだわり、簾1枚（高さ約1.8m、幅95cm）を仕上げるのに約1000本のひごを使います。

丁寧に作られたすだれは、使い込むほどその色合いに深さを増して、100年は使用できるとされ、05年には京都の迎賓館にも納められた逸品。

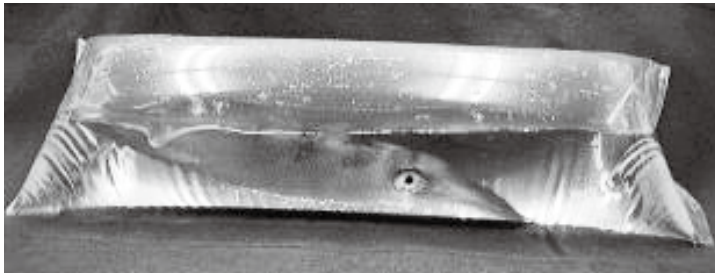
繊細で根気のいる作業に、「入門しても長くて一週間、大半が半日で辞めました」と後継者難。昨年3月に開校した地元の椿西小学校にも、平井さんの作品が使われています。

注文を受け、寸法どおりに作る受注生産。セット（4枚1組）は約30万円台から。

平井製簾所（08338・288・0108）

卓越した技能者を表彰する「厚生労働大臣表彰」（現代の名工）に、高級和すだれを製作している萩市大井の平井製簾所代表、平井恒夫さん（73歳、椿在住）が選ばれました。

工場を構えて約40年。業界全体で機



△特殊パックされた状態の活き剣先イカ



### 大井湊は剣先イカの一大産地

大井湊漁港は山陰日本海を代表する「剣先イカ漁」の一大基地です。漁港には大規模な活きイカ用の活魚水槽設備が整備され、萩名物・剣先イカを各地に出荷しています。ブランド化推進活動の成果もあって、知名度も出てきましたが、より多くの消費者に萩の剣先イカを味わって頂きたい、しかも産地でしか食する事ができない活き剣先イカの刺身料理をもっと手軽に楽しんで頂きたい、そんな想いから生まれたのが「活イカパック販売」。機器システムについては大阪府堺市の機械メーカーが開発しました。

## インタビュー

# 活魚パックで剣先イカを 活きたまま販売!!

「萩名物・剣先イカの活き造りをご家庭で」をキャッチフレーズに、11月1日、漁協直営店・萩魚はぎうお(道の駅/萩シーマーと内)で、活イカパックの販売が開始されました。

特殊パックに殺菌海水と酸素を充填、活きたイカを1パイづつ封入して運搬ができる状態にした商品です。この新製品の担当になられた山口県漁協大井湊支店の和田支店長にお話をお聞きしました。

本来、剣先イカは非常にデリケートな生きもので、普通の魚類と比較しても「活かし」が大変難しいと言われています。このシステムは殺菌海水にPH調整剤等を添加し、特殊パックに酸素充填するというものですが、発売までに実験を繰り返したところ、激しく揺すつてもスミを吐くこともなく、最長で26時間生存(活イカの個体差により異なる)という結果を得ています。海水については、魚市場に整備されている殺菌海水をそのまま流用することができましたので、導入コストは安く上がりました。

せんので、発売開始後、飛ぶように売れるとはいきませんが、消費者の関心は高く、店頭のサンプルを興味深そうに眺める方が多いようです。また、一般のお客様のほか、これまでは店舗にイカ専用水槽設備がないと提供できなかった活きイカ料理が、設備投資ゼロで実現できると、市内の料理店などプロ筋の関心も集めています。

今後の課題としては、来年のシーズン(剣先イカの盛漁となる春以降)に向けてPRを活性化させること、そして、首都圏や関西圏などへの宅配便による発送が可能となるよう生存成績を安定化させることでしょうか。このパックシステムは、イカ類だけでなく、一般の魚類にも活用できるので、アマダイやキジハタといった高級魚への転用にもトライしたいと考えています。いずれにしても始まったばかりですので、じっくり根気よく取り組んでいきたいと思えます。

#### ■問い合わせ

山口県漁協大井湊支店

08388・28・0231

漁協直営店「萩魚」

08388・24・4937

田中商店(旬)

08388・28・0400

### 萩名物 アマダイなどにも転用

積極的なPR活動をしていま

類だけでなく、一般の魚類にも



# ズームアップ

明屋書店は全国各地に90店を展開する国内でも最大級の地域書店チェーン。幼少年期を萩の町で過ごされた創業者・安藤会長にお話をお聞きしました。

はるや  
**株明屋書店 会長 安藤 明氏**  
あんどう あきら



(89歳 愛媛県松山市在住)

## 約10年間を萩で、書籍販売のきっかけ

生まれは九州の飯塚市です。幼少の頃、萩に移り昭和4、5年頃まで約10年間を萩で過ごしました。当時は下五間町に住んでいました。もちろん明倫小学校の卒業生です。当時、家庭が貧しかったため、修学旅行のことを親に言い出せず不参加、これが子供の頃の一番悔しかった思い出です。高等小学校を出て、そのあとは、唐樋の防長自動車に車掌見習いで半年間、東田町のすずらん楽器店に2年勤務、そして大阪に出て大手レコード店で2年間、広島まで戻って萩

本という洋服屋に勤めました。書籍の販売に関わるきっかけは、この頃です。今では少なくなりましたが、当時貸本屋が結構流行っていて、私自身もよく利用しました。常連になるにつれて、この貸本屋の商売の仕組みが理解でき、これは儲かると自身で貸本屋を起業することを思いつきました。ただ、当時すでに広島は都会で、なかなか商売に適した土地を手に入れることが難しかったのです。

## 会社設立まで

家内が四国松山市の近郊出身だったこともあり、昭和12年に松山に渡り、松山市千舟町に明

屋書店の前身となる貸本屋「明文堂」を開業しました。そしてこの貸本屋が、目論見通り大あたり。終戦まで貸本業を続け、昭和21年頃に事業拡大するため、松山の繁華街（現在の松山市湊町）に土地を得て、新刊本を扱う書店を開店。当時の松山の地価はとても安く、確か1坪あたりが350円、畳1枚作ってもらうのが70円でしたから、今では考えられない値段でした。

明文堂という店名は、ありふれた名前です。郵便物が違う所に行ってしまったという経験があったので、「明屋書店」と改名しました。もちろん「明」の字は、自分の名前から。この一文字には、文字どおり「店内は明るくあれ」「社員は明朗であれ」との願いを込めて命名しました。そして、自らが学んだ旧萩藩校の明倫小学校にあやからうという気持ちも多少ありました。「株式会社 明屋書店」として会社を設立したのは昭和25年のことでした。

## 成功の要因

松山湊町の1号店からスタートし、現在は、山口県に18店舗、九州地区に30店舗、四国地区に29店舗、そして北は北海道から、南は九州鹿児島まで、全国15都道府県に直営73店、F C 17店

合計90店にチェーン展開する国内でも最大級の地域書店に成長しました。

成功の要因？、一言ではなかなか言えませんが、今でいう「社員教育」を熱心にやったことが一番大きいと思います。もともと、人にものを教えるのが大好きな性質で、商売の基本から販売のテクニックまで事細かく指導しました。当社のモットーとして、「機先を制する」「清潔・整頓」「親切」を掲げています。特に3つ目の「親切」、これを大切にしてきました。お客様は親切にしてくれた店を決して忘れないものです。

例えば、細かいことですが、店先にあるお客様の自転車に、雨が降ってきたら紙をかぶせて、風で飛ばないようにその上に小石を置いておくとか・・・今でも、各地の明屋書店の店頭には、自転車の空気入れが置いてあるはず。昔のように町のあちこちに自転車屋さんがあるという時代ではなくなりましたので、ちよつと空気が抜けた時などに重宝して頂いていると思います。



△自転車の空気入れ

## 萩再訪

幼少の頃を過ごした萩には、その後何度も訪れています。家内と結婚した春には、萩城跡の指月公園を散策、城跡に咲く満開の桜が見事であったことを覚えていています。

また、結婚直後に東萩駅近くの松本川沿いの借家に半年ほど住み、暇があれば、河畔でハゼ釣りをしたことも懐かしく思い出します。当時は、飯粒でいくらでも釣れました。最近では、確か3〜4年前に萩を訪れています。

ただ、自分も来年で90歳、かつての同級生や、市制10周年の時に一緒に楽団を組んだ昔の友達がもうほとんど居なくなりました。幼少期を過ごした下五間町も当時の住宅地から飲食店街に様変わり、昔通った散髪屋さんなども無くなつてしまい、少し寂しい想いです。(談)

## プロフィール

1917 (大正6) 年2月25日、福岡県飯塚市生まれ、幼少期の10年間を萩で過ごす。明倫高等小学校卒。37 (昭和12) 年、松山市にて明屋書店の前身となる貸本屋「明文堂」を創業。50 (昭和25年)、株式会社明屋書店を設立。  
年間売上高189億円。

11月22日  
**たちばな会・からたち会下関支部総会**  
 亀山八幡宮儀式殿 (下関市)



35人が出席。たちばな会松村久支部長が「安倍首相効果を下関で感じられ嬉しく思う。萩商業の就職も景気が

良くなっていると聞く」と、川原輝彦同窓会長が「統合され、地域の活力にとつて寂しい限りだが、卒業生としての誇りを大切に」と挨拶されました。

懇親会は、フグさし、フグ鍋、フクのひれ酒とフクづくし。昔と今の萩の話に花が咲きました。たちばな会下関支部事務局は 中谷満正 (090・5081・8545)

12月2日  
**下関巴城会総会**  
 下関東急イン (下関市)

19人が出席。益田宗親會長(昭17年卒)が「我々卒業生が協力して、母校萩高のために協力していきたい」と挨拶。また、山下浩校長が



ら、萩高合唱部のNHK全国コンクール出場と国民文化祭での会津高校との合同演奏会の開催のほか、東大・京大・国立医学部の合格率ラッキンクで萩高が県内4位になったと近況報告がありました。懇親会では、全員が近況報告を行い、故郷萩を懐かしむ話で盛り上がりしました。事務局は、益田宗親 (0832・32・3387 益田耳鼻咽喉科)

**萩の名産品が栃木に出現!?**

東京在住の萩出身者によって活動中の「ふるさとボランテア萩大志館」が、11月18・19日に開催された「栃木秋祭り」に萩物産展を出店しました。

栃木市の活性化を目指す団体「元氣ジャパン」と提携して実現した物産展で、萩の海鮮物、夏みかんジュース、地ビール、地酒を販売。栃木市民の皆さんに萩の味を堪能して頂きつつ、ネット販売の案内チラシを配るなどして、萩のPRおよび地元企業の販路開拓にトライしました。また、栃木に残る江戸時代の蔵を

「萩焼カフェ」に改造。萩焼にたてた抹茶を提供しつつ、栃木市民の皆さんと萩の話に花を咲かせました。全国でも類を見ない「大志館活動」を推進中の在京萩出身者。萩大志館は来年もふるさとの為に活動を活発化していきます。

参加者募集中! 東京で商品をPRしたい企業の方も是非ご相談下さい。問い合わせ 萩大志館 井関隆行 (090・8628・7147) Eメール takayuki\_salvador@hotmail.com



**「萩の陶芸家たち展」**  
 ～萩焼 東京を魅了～



萩陶芸家協会(三輪休雪会長)の会員97人の作品を一堂に集めた「し新しき伝統をもとめてし萩の陶芸家たち展」が、12月13日～18日、東京・日本橋高島屋で開催されました。約5000人が訪れ、作品の前で足を止め、じっくりと鑑賞し、萩の美を堪能しました。

伝統的な茶器や、斬新なデザインの花器をはじめ、現代萩焼の最高峰96歳の人間国宝・三輪壽雪さんと未来を担う20代の新進作家の作品が同じ舞台に並ぶなど、さまざまな個性ある新作を一堂に展観。三輪会長は「萩焼400年の歴史で、これだけ多くの会員がそろって東京で展覧会をするのは初めてで画期的なこと。様々な感覚でいろいろな素材や技法を使える時代になった。多様な作品が出てくるのは萩焼が進化している証拠」と話しました。主催した萩陶芸家協会は、2004年秋、県立萩美術館・浦上記念館で100人規模の「萩開府400年記念 萩陶芸家協会展」を開き、さらに幅広い人たちに鑑賞してもらおうと今回の企画展を開催しました。

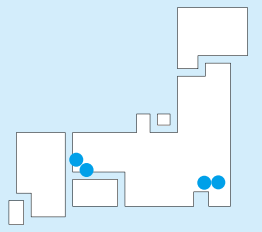
熱心に耳を傾ける来場者 岡田裕・協会専務理事のギャラリートーク



# 同窓会だより

★事務局からのお知らせ

クラス会、同窓会、皆さんからの投稿記事をお待ちしています。萩ネットワーク事務局まで、お送りください。また事前にご連絡いただければ、資料をお送りします。



## 会員投稿

10月23日～25日

### 萩商36会

日光～東京・鎌倉



12月2日

### 田万川江崎会

はつもみぢ(東京都新宿区)

これからも、郷里と東京との架け橋の役割を担いつつ、遠く離れた郷里を想い、発展を願う会員相互の親睦の場として開催していきます。思いもしなかつた懐かしい人と再会できるかもしれません。

阿部泰之さん(田万川出身、東京都調布市在住)からの投稿です。  
当日の出席者は23人(会員は約100人)。毎年1回、同郷のよしみの会を開催しています。佐伯行宣名誉会長、作詞家・吉岡治名誉顧問、中村元巳会長等をはじめとしたメンバーで、田万川弁を丸出して、和気あいあいと話が盛り上がり、あつという間の楽しい一時でした。

佐伯信さん(萩商49期卒、36会、東京都葛飾区在住)からの投稿です。  
萩商を昭和36年(49期)に卒業した同期生の集まり「36会」の会員47人が全国から参加し、2泊3日で日光と東京・鎌倉を観光しました。  
昨年の萩に続いて1年振りの再会でしたが、会えば思ひ出話が止めどなく続く。これが、同期会の良さなのでしょう。

を恩師の方々を招き盛大に行いました。  
その後は京都、萩、そして今回の旅行と続いています。  
日光での2日間はあいにくの風雨となり、どうにか霧に浮かぶ中禅寺湖の紅葉が見れる程度に終わりました。しかし、翌日は一転快晴のもと、東京と鎌倉に分散した観光でしたが、素晴らしい景観に恵まれ、東京では六本木タワーから澄みきった東京の街が一望できました。  
私たち「36会」会員は、元氣な60歳代のうちに精一杯出会いを楽しもうと、来年は北海道で手広く事業をしている会員の吉谷君を訪ね、北海道での同期会を予定しています。



## 会員からのお便り めーるぼっくす

○林賢治(埼玉県川越市)

前号の「萩のもんかきや」懐かしく読みました。若い頃原作を読み、高校生のとき田町の一角にあった「もんかきや」を覗いたことがあります。まだ続いていると知って嬉しく思います。

先日、国立公文書館で「明治の宰相列伝」展を見ました。伊藤博文・山県有朋・桂太郎、萩出身の3人の総理大臣に関する資料が展示紹介されていました。桂太郎が総理在職通算日数歴代1位(2886日)というのは、輝かしいと思います。映画「長州ファイブ」にも期待したいと思います。

○藤井照子(山口県岩国市)

金谷の天神様のお祭りの頃は小雪がちらつく年もありました。温かい蒸気まんじゅうを母が買って、冷たい手にもたせてくれた幼い日を思い出します。80年も前の話ですが、江向に住んでいました。懐かしい萩のことは忘れません。

○佐伯信(東京都葛飾区)

数年前から「萩ネットワーク」を購読し、毎号楽しく読んでいます。最近、内容が充実し読み応えがあります。故郷を離れ半世紀近くが経つ今、故郷への思いはますます募ります。このような中、「萩ネットワーク」の果たす役割は非常に大きいものがあると思います。

## 02 オオシオムカ工

見島に伝わる年越しの行事のひとつ。元日の深夜から早朝にかけて、家の主が海水を汲みに出る。これを「オオシオを迎える」と呼ぶ。身を清めて、神様を迎え、幸をいただいて送るという年越しの行事のはじまりである。汲んで来た海水に南天の葉を浸し、屋敷の四方のほか、玄関や床の間にかけて廻る。一種のお清めとして今でも多くの家で一連の年越しの儀礼として行われている。



萩の風物詩

## 06 お正月の鏡餅・しめ飾り

お正月のお飾り、鏡餅は、「心の鏡」として重ね餅のように夫婦仲良く、丸い餅のように家庭円満に、串柿のように子孫に恵まれ・・・との願いが込められている。重ね餅の上にウラジロ・昆布・スルメ・串柿までは、全国ほぼ共通。萩の特徴は餅の上に載るのが普通のミカンではなく、橙あること。もちろん橙（ダイダイ）は「代々」で、子孫繁栄の祈りが込められている。また、ユズリハも代々譲ると（家の永続）という意味で添えられることがある。玄関や門に飾る注連縄の中央に付けるミカンも、萩では橙が本式。



萩の風物詩

## 01 おにようず

長男の誕生を祝う見島独特の凧。誕生年の年末に親族縁者が大勢集まり、畳6畳大の大凧を作成する。正月の間、親族縁者でその凧を大空に舞い上げ、子供の健やかな成長を祈るという。揚げた後は、座敷の天井に吊るし、子どもを守る魔よけとして大切に保管される。工芸品としても人気があり、見島はもちろん萩市内の飲食店などにも飾られている。

萩の風物詩

## 05 おせち料理

各家庭によって様々な味・色合い・盛り付けなどが工夫されるおせち料理。一般的な、数の子、黒豆、煮しめ、えび、きんとんなどの他に、萩ならではの料理も詰められていた。中でもっとも特徴的なのが、干しふぐの煮しめ。全国一般には干し鰯が使われるが、ふぐの産地萩では、シロサバフグなどをカチカチに乾かした「干しふぐ」を使用。現在では珍しくなったが、かつては軒下に干したふぐが、年末の萩の風物詩だった。



# 萩の風物詩

その①（年末と年始）

古くから萩の地に伝わり、現在においても脈々と引き継がれてきた風習や儀礼そして年中行事。特に年末年始には、まだまだ数多くの事象が色濃く残っています。その一部を、受け継ぐくらしの知恵（萩老連婦人部編）や旧萩市郷土博物館の研究報告を参考にピックアップしてみました。

## 04 のぞり初め

正月が明けて、はじめて船に乗る際の儀式。萩市内各地の漁港で行われている。左舷からお神酒を海に注ぎ、機関室などにお神酒・黒豆・ご飯・おかずをお供えする。この日は、港に並んだ各船から、みかんやお菓子が集まった人々に撒かれる。一年の豊漁と安全を祈念する行事。先に散財し、あらかじめお祝いをしておくことで幸を呼び込みたいとの気持ちが込められているのかもしれない。



## 03 若水

見島の新年行事。海水によるお清めが終わると、家の主は引き続き、「若水」を汲みに行く。かつては、井戸に汲みに行き、この時「ガンチョーニ、ワカオトコ、カメニクミコムフクノカミ」と唱えていた。汲んできた「若水」を沸かしてお茶を入れ、梅干を入れた湯飲みに注いで、神様にお供えし、自分たちもいただく。これをオオブクイワイと呼ぶ。また、おもちを一つ食べて、年を取る。本当の意味での「お年玉」である。このことは大切な儀礼となっている。神様に供えた後に、その供物のおさがりを雑煮にする。



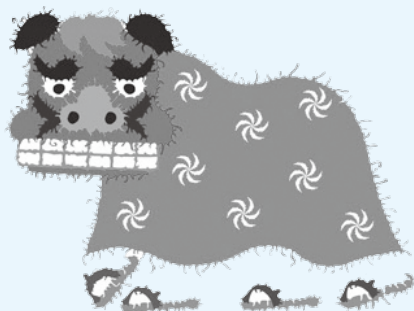
## 08 むこうえと 向干支

萩沖の大島には、門の上に動物の干支をかたどった彫り物を掲げている家がある。これは、その家の主人の「向こう干支」（6年違いの干支）といい、災いをなすものからその家を守ってくれるという大変珍しい風習。今も島内の数軒の門にウサギやサルなどの彫り物が鎮座している。



## 07 お雑煮

ローカル色豊かなお正月の雑煮。萩の主流は、いりこ昆布で出汁をとり醤油で調味した澄まし汁仕立て、丸平餅を焼かずに入れる。具は蕪。むつみ地区では、昆布出汁の澄まし仕立て、具は大根・豆腐・ねぎ、餅はもち米だけでついた平餅。農耕用の牛にも正月の朝には家族の一員として、餅を与えたという。



## 09 菊屋家住宅の門松

萩市呉服町にある国指定重要文化財・菊屋家住宅。その長屋門に飾られた門松は、江戸時代のもを再現。松だけを使用した質素なものであるが、質素な中でも時代の重さを感じさせられる。松は枝が3段に分かれたものを使用、松の下には、1年間（12カ月）を意味する12本の樫（くぬぎ）の枝が円錐形に生まれ、その上に藁縄（わらなわ）が巻いてある。この樫の枝、うるう年には13本組まれる。



△明倫小学校 下足箱



△明倫小学校 朗唱の様子

## フォーラム21「梅下村塾」 明倫小学校の教育は素晴らしい

ばいかそんじゅく

日本の21世紀を担う指導者を育成するため、我が国を代表する大企業等による異業種交流の場として1987年（昭和62）に設立された「FORUM21」。

1999年に「平成の松下村塾たれ」との思いをこめ、梅津昇一氏（元ユースコーポラーシヨソ社長）が塾長を務める「梅下村塾」と命名されました。

梅下村塾は、大企業や官庁から派遣された若手メンバーが、一企業、一産業の垣根を越えて明日の日本を考える研究を行い、日本の官界、経済界で活躍

する多くの人材を輩出しています。

この塾では、毎年、約40人の塾生が歴史ある萩の街を学ぶため萩を訪問、松下村塾や史跡などを見学するほか、野村秋市長が講話を行っています。

訪問先の一つ明倫小学校では、松陰の言葉の朗唱、きちんとあいつする子どもたちの礼儀正しき、そして下足箱のすべての靴がきちんと整理整頓されているのを見て、訪れる塾生全員が明倫小学校の教育の素晴らしさに感心しています。

## 佐藤芳直著「顧客満足経営の極意」でも 明倫小学校の「下足箱と朗唱」を絶賛

佐藤芳直（株式会社S・Yワークス代表取締役）著「お客がお客様を連れてくる！『顧客満足経営』の極意」（同文館出版）に、筆者が「日本人として、必ず見とおきたい風景」として、明倫小学校の「下足箱と朗唱」が取り上げられています。

著書では「下足箱の前に立つて、しばらく身動きがとれませんでした。小学校3年生の下足

箱。すべての靴は、かかとも見せて各々のブースに、直角・平行・並列に、少しの乱れもなく並べられています。（中略）まるで奇跡のような光景です」と書かれ、「明窓浄机（学びのじまりは、理想的環境をつくることから）」という言葉を用いて、明倫小学校が理想的な教育環境であることを強調しています。

# 阿武町

## ふるさとのオリジナルカレンダーを全国に発送

### 06トピックス

#### ●町道木与山ノ口線が完成

（3月）

奈古の山ノ口と木与を結ぶ町道木与山ノ口線が17年の歳月をかけ完成。福賀方面から木与、宇田郷地区への交通時間が飛躍的に短縮。

#### ●町民センター文化ホール開館10周年記念行事を多数開催

（4～10月）

平成19年版のテーマは「町を歩けばふるさとの小径・散歩道」。昨年の暮れ、町内の各家庭と全国から予約のあった約500人に発送しました。在庫が僅少、希望者に1部500円で販売します。

#### ■問い合わせ

阿武町役場総務課（高橋）

（08388・23111）

町民センター文化ホール開館10周年を記念し、NHK公開セミナー「童門冬二が語る功名が辻」（4月）、花房晴美&真美ピアノデュオコンサート（6月）、京都大学交響楽団演奏会（8月）、ルイス・ナッシュ&ピバップ・グレート・オールスターズ・ジャズフェスティバル（10月）など多彩な行事を開催。



1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
31					

# 快挙

## 全国高校ラグビー

### 萩工業

### 5年連続12回花園出場

5年連続12回目の出場。この間、県内の公式戦では「負けなし」という圧倒的な強さを誇る萩工業ラグビー部。11月23日、山口県大会決勝で大津高校に24対3で快勝し、花園ラグビー場（東大阪市）で行われる「第86回全国高校ラグビーフットボール大会」に出場を決めました。

浦田信幸主将（萩西中出身）

は、「まずは初戦突破。そして先輩たちが果たせなかったベスト8進出を目指したい」と大会に向けての決意を語りました。

全国大会1回戦は、12月28日、北海道代表の札幌山の手高校（7年連続7回目の出場）と対戦。04年のベスト16を上回る念願のベスト8に向けて活躍が期待されます。



## NHK全国コンクール

### 萩高校合唱部が山口県勢では30年ぶり初出場

萩合唱部が、10月9日、NHKホール（東京都渋谷区）で開催された「第73回全国学校音楽コンクール全国コンクール」に出場しました。山口県勢では宇部高以来30年ぶりの出場で、萩高の出場は昭和28年の創部以来初の快挙。また、11月に開催された「国

民文化祭やまぐち2006」で、11日、福島県立会津高校が作詞、萩高が作曲した曲「友情〜時を越えて今〜」を一緒に歌う合同演奏会を山口県立萩美術館・萩美術館で開催。200人を超す観客に大きな感動を与えました。



▶合同演奏会で熱唱する萩高と会津高の皆さん

## 中学校英語弁論大会

### 全校3人、3年は1人だけの相島中・長井君が全国4位



▲カップを手に笑顔の長井君と野村萩市長

#### Tales from Aishima

Hi everyone. My name is Nori. Today, I want to talk to you about me. I live a very different life from most of you. Did you know that I have no friends in my class? Please don't feel sorry for me. You see, the thing is, I am the only person in my class.

11月25日、よみうりホール（東京都）で開催された「第58回高田宮林全日本中学校英語弁論大会」で、相島中3年の長井紀幸くんが見事4位に入賞しました。

相島中の3年生は長井君1人。発表した英文「Tales from Aishima（相島物語）

ひとりぼっち」は、「僕には友達がい人もいない。クラスは僕一人だけだから。授業中はいつも全部の質問に

答えないといけないし、隠れる場所がないので勉強してしま〜」とユーモアあふれる内容。長井君は「決勝にでるとすら想像していなかったの

で、とにかくうれい」と笑顔いっぱい話しました。

長井君は、昨年夏に萩市教育委員会が実施した「長州ファイブジュニア・イギリス語学研修」に参加した5人の中の1人です。

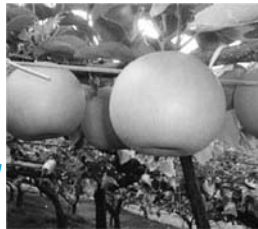
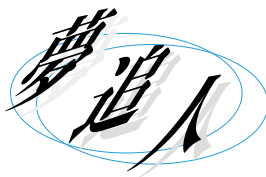


## 小川梨生産組合

販売部長

吉田幸良さん

(48歳、萩市小川在住)



田万川のひらやまたい小川地区といえは桃・梨・ぶどう・りんご・栗など果物の一大産地として有名。中心となる平山台は高原状の広大な農地。大学卒業以来27年間、この平山台で果物生産に情熱を注いできた吉田さんにお話をお聞きしました。

梨と言えば9月から10月というイメージですが、8月上旬出荷スタートの「幸水」を皮切りに、9月中旬までの「20世紀」、10月初旬からの「新高」、11月にかけての「新興」、11月下旬から年内の「愛宕」、12月の「新雪」、年明けからの西洋梨「パスカラサン」とほぼ半年間、その時期の旬の品種を味わえるシーズンの長い果物なのです。

### 適熟の梨を出荷

平山台の梨農園は、規模的にはそれほど大きなものではありませんので、首都圏や関西圏などの大消費地の需要に応えることはできません。ただ、逆に言えば出荷先が県内、遠くても広島都市圏ですので、いわゆる「適熟」の食べ頃の梨を出荷できることが強みでしょうか。遠方に出荷するとなると、どうしても店頭に並ぶまでに日数がかかるので、適熟の前に出荷せざるを得なくなります。また小川の梨には、一個ずつ5ケタの数字が刻印されています。この番号を見れば、誰が何時に出荷した梨なのか簡単に分かるようになっていきます。最近声高に言われる

トレーサビリティ、生産者自身も責任を持って出荷するという意味でも評価できると思います。梨の生産には苦勞も付きまといま。私たち梨農家では、これを「5K1S」と呼んでいます。「カラス」「黒斑病」「黒星病」「風(台風)」「干ばつ」の5K、そして1Sとは「サル」のことです。近年はサルの被害がひどく、先日私の所だけで、一日で160個の梨が被害に遭うなど、対策に頭を痛めている状態です。

### 果樹園のオープンガーデン

現在、梨販売の主流はもちろん青果市場ルートですが、道の駅など地域の農産品販売所が増えてきていますので、そちらに梨を搬入し、直売していくことに最近は力を入れています。売れ行きが良いことに加えて、売場に立つと、お客様の意見も聞けるし、ご試食いただいた感想なども聞けるので、仕事に張りも出てきます。

今後の夢としては、多くの消費者の方々に、一度、平山台の農場に足を運んで生産の現場を見ていただくとともに、果樹園周辺の自然が楽しめる仕掛け

をしていきたいと考えています。名付けて「梨のオープンガーデン」、果樹園での摘果を経験したり、わさび畑の見学、栗拾いや沢遊び、木工体験など、この平山台ならではの体験をして頂ければと思います。

田舎にはまだまだ商品として発掘できるものが沢山あると思っています。例えば、果樹園周りの防風林の廃材を使ってリースの材料にしたり、ヒノキなどの間伐材を薄くスライスして工芸材料にしたり……。もちろん梨の生産が本業ですが、果樹園周りの自然や資源をうまく活かして、この地区ならではの商品にしていければと夢見ています。

### プロフィール

1958(昭和33)年上小川生まれ 48歳 萩市小川在住。地元の小中学校を卒業後萩高校に進学、鹿児島大学農学部農学科卒業。在学中に父親が亡くなり、80(昭和55)年から農業に従事。小川梨生産組合販売部長

### ★プレゼント

小川産の梨「新雪」または「パスカラサン」を、3名様にプレゼント。申込方法は17ページ。

### 小川梨のシーズンは半年間

ここ小川の平山台は、一日の寒暖差の大きさと、粘土質の土壌開花の時期となる春の遅霜が降りにくいなど、果物の生産に適しています。特に寒暖差は果物の糖度に大きな影響を与えますし、また粘土質の土壌は植物にとって根を伸ばしにくく、その分苦勞して育つため、収穫量は少ないけれど果物の味が良くなるということがいえます。私の場合は、梨を中心に栽培しています。

山口県立萩美術館・  
浦上記念館名誉館長

浦上敏朗さん

山口県文化特別功労賞を受賞

芸術文化の分野で全国的な功績を挙げた県ゆかりの人物を表彰する山口県文化特別功労賞に、直木賞作家の古川薫さん（下関市在住、81歳）とともに、山口県立萩美術館・浦上記念館名誉館長の浦上敏朗さん（東京都渋谷区在住、80歳）が選ばれました。この賞は、山口県が2002

年に新しく設けたもので、第1回目は、陶芸家で人間国宝の三輪壽雪さん、作詞家の星野哲郎さん、彫刻家の澄川喜一さんの3人が受賞されています。同賞の表彰は、4年振り2回目。浦上さんは、萩市出身。半世紀がかりで収集した貴重な美術



コレクションの全てを県に寄贈し、山口県立萩美術館・浦上記念館の建設と開館のきっかけをつくられました。開館後も寄贈を継続し、コレクションの充実

見島在住のイラストレーター

岩崎千夏さん

島の伝承を絵本「タキワロ」に



萩市見島のイラストレーター・岩崎千夏さん（36歳）が、地元の言い伝えや風習などを題材に創作した絵本「タキワロ」を出版しました。「タキワロ」とは、「タキワラワ（滝童）」のことで、島の人々が磯で海苔や貝を採っている

と現れ、いたずらをすると言われる童子の妖怪。現在の見島では忘れ去られている存在ですが、作中では、陸と海を結ぶ橋の番人として登場し、人との出会いを通じて心の成長を果たしている姿が、見島の風景とともに描かれています。岩崎さんは、京都芸術短期大学で日本画を専攻。京都のデザイン会社に勤めた後、帰郷。現在は、家業の旅館を手伝いながら詩集やコミーシャルの背景などを手がけています。「見島のことを知ってもらえれば、これからは故郷をテーマ



に創作していきたい」と、岩崎さん。

本は、A B判40ページ。税込1575円。問い合わせは、長崎出版（03・5283・3752）へ。

【あらすじ】

昔、海の方こつに小さな島がありました。島の岬の観音堂の裏手は、「魂送り」の石塚と呼ばれる、死者との別れの場所。その手前の橋の番人をしてるのがタキワロでした・・・。

萩博物館だより

(0838・25・6447)

年末年始も開館します

●企画展

幕末志士たちの手紙

— 山根正次コレクション —

4月8日まで

明治から大正にかけて医学者・政治家として活躍し、私立

日本医学校（日本医科大学の前身）の創設にも関わった、萩

出身の山根正次（1857～1925）の集めた資料が、近年、ご子孫の厚意で寄贈されま

した。

山根正次は、幕末維新期の志士たちの手紙を積極的に収集しており、その貴重なコレクション

山口県立萩美術館・

浦上記念館だより

(0838・24・2400)

1月20日から開館します

●企画展

東方はるかなユートピア

— 煙台地区出土文物精華 —

3月11日まで

中国文明の東縁部にあり、大陸から日本などへの文化の主要な通り道だった煙台地区の歴史的魅力を、西周時代、春秋時代、

戦国時代の青銅器、玉器など66件・145点の文物によって紹

介します。



山根正次

ンの中から吉田松陰や高杉晋作らが熱い思いを込めて綴った手紙を紹介いたします。

●萩再発見ギャラリー  
昆虫ワールド in 萩  
2月28日まで

開館時間 午前9時～午後5時  
休館日 なし

入館料 大人500円、高校・大学生300円、小・中学生100円

介します。

●浮世絵展示 「浮世絵の画題」

（1月2日～2月4日）、「木曾海道六十九次」（2月6日～3月11日）

●東洋陶磁展示 「白磁の展開」  
（1月2日～4月8日）

開館時間 午前9時～午後5時  
休館日 月曜日（祝日・休日の場合は翌平日）

※1月1日までは年末年始のため休館。

入館料 一般700円、学生500円

# 情報アラカルト

## 東北地区

■吉賀将夫作陶展

1月30日(火)～2月5日(月)

仙台市青葉区 仙台三越

(022・225・7111)

## 関東地区

■三輪華子「愛の泉」ささやかな新春のしつらえ

12月27日(水)～1月10日(水)

東京都港区東新橋 パークホテル東京 アトリウム

(03・6252・1111)

■萩焼新作親子展

陶芸家 松尾藻風、松尾優子の作品が展示されます。

1月16日(火)～22日(月)

東京都中央区 日本橋三越

(03・3241・3311)

■おいでませ山口館のイベント

●冬のあつたか鍋物フェア

萩のふぐ製品、ポン酢などが販売されます。

1月17日(水)～23日(火)

●山口福ふくまつり

冬の味覚「ふぐ」をテーマに、下関の専門店による即売をはじめ、ふぐ弁当の特別販売、福ふく抽選会などが行われます。

2月19日(月)～24日(土)

東京都中央区日本橋2・3・4

東京都中央区日本橋2・3・4

## 関西地区

日本橋プラザビル1階 おいでませ山口館

(03・3722・3510)

■松尾優子作品展

1月18日(木)～2月10日(土)

東京都豊島区

東武百貨店池袋店

(03・3981・2211)

■兼田昌尚作陶展

2月15日(木)～21日(水)

東京都大田区田園調布2・44・8 ギャラリー輝山きざん

(03・3722・3510)

■四国・山陽の観光と物産展

2月21日(水)～28日(水)

東京都町田市原町田

小田急百貨店町田店

(042・727・1111)

■2007 「東美アートフェア春」

陶芸家 三輪華子の作品が展示されます。

3月16日(金)～18日(日)

東京都港区新橋6・19・15

東京美術倶楽部

(03・3432・0191)

## 中部地区

■第1回山口県の物産展

1月10日(水)～15日(月)

長野県諏訪市諏訪

まるみつ百貨店

(0266・52・4111)

## 東海地区

■三輪和彦作陶展

2月7日(水)～13日(火)

名古屋市中区

名古屋松坂屋本店

(052・251・1111)

## 中国地区

■日本工芸会山口支部展

陶芸家 岡田裕らの作品が展示されます。

1月23日(火)～29日(月)

広島市中区 そごう広島店

(082・225・2111)

## 四国地区

■十二代三輪休雪展

一休雪への道

1月2日(火)～15日(月)

香川県高松市常盤町

高松天満屋

(087・812・7111)

## 九州地区

■おいでませ山口美味しいもの

会

1月23日(火)～29日(月)

福岡市中央区天神 福岡三越

(092・724・3111)

## 山口県関係

■歴史常設展示 木戸孝允

1月6日(土)～5月6日(日)

山口市春日町

山口県立山口博物館

(083・922・0294)

## 萩市関係

■映画「長州ファイブ」年末年始特別上映

1月8日(月)まで

萩市東田町 萩ツインシネマ

(0838・26・6706)

■藤崎恒頼新作展(油彩)

1月18日(木)～23日(火)

萩市江向

萩郵便局コミュニティルーム

(0838・22・0681)

■萩城下の古き雑たち

2月3日(土)～4月3日(火)

萩市呉服町 旧久保田家住宅

(菊屋家住宅向かい)

問い合わせ 萩市観光課

(0838・25・3139)

■彩陶庵の企画展

●萩・4人のつづわ・3

若手陶芸家 金子司、濱中史朗、中島大輔、野坂和左の作品が展示されます。

3月17日(土)～25日(日)

## 美形造の萩焼 人間国宝 三輪壽雪の世界



萩焼窯変割高台茶碗 鬼萩窯変割高台茶碗

萩焼の重要無形文化財保持者(人間国宝)で、96歳の今なお現役の陶芸家・三輪壽雪。その80年におよぶ作陶生活の集大成として、茶碗や花入、置物など約180点が展示されます。

福岡 1月2日(火)～14日(日)

福岡三越(博多)

愛知 2月7日(水)～18日(日)

名古屋・松坂屋美術館

茨城 4月21日(土)～6月24日

(日) 茨城県陶芸美術館(笠間)

## 第53回日本伝統工芸展

陶芸家 岡田裕、玉村登陽、野坂和左、波多野善蔵、波多野英生の作品が展示されます。

■高松展 1月5日(金)～21日(日) 香川県文化会館

■広島展 1月24日(水)～2月4日(日) 広島県立美術館

■福岡展 2月7日(水)～12日(月) 福岡天神岩田屋

■仙台展 2月20日(火)～25日(日) 三越仙台店

■松山展 3月3日(土)～11日(日) 三越松山店



萩市呉服町 彩陶庵  
(0838・25・3110)

## 出版情報

■萩博物館展示案内「萩のまちは屋根のない博物館」



ニッセイ財団の助成を受け、萩博物館の常設展示の解説を写真とともに分かりやすく紹介しています。

B5判/56ページ  
価格 350円

## 新規加入会員ご紹介

(10月23日～12月22日)

加入者11人

白上貞三さん (萩市)  
藤道健二さん (東京都杉並区)  
角谷正人さん (千葉県松戸市)  
末永格さん (大阪府大阪市)  
綿屋稔さん (萩市)  
原嘉昭さん (山口県下関市)  
田中琢美さん (山口県下関市)  
阿部日佐夫さん (山口県下関市)  
池田信さん (山口県下関市)  
ヒロコ ドラゴンさん (イギリス)  
松岡怜子さん (山口県下関市)

販売所 萩博物館ミュージアムショップ

問い合わせ 萩博物館  
(0838・25・6447)

■河村建夫衆議院議員「人間力創造力こそ至誠のところで教育改革」

1990年の衆院初当選以来、一貫して教育問題に取り組み、文部科学大臣も務めた河村氏による自著出版。学校・教育委員会の見直しや、食育の重要性などについての持論を展開。

B6判/330ページ  
価格 1400円

販売所 山口県内の各書店  
発行 三晃実業出版部

問い合わせ 河村建夫事務所  
(0838・22・1309)

■勢古浩爾「新・代表的日本人」  
第7回毎日21世紀賞受賞、会

社員と文筆家の2足のわらじを履く著者が、世界に誇るべき日本人として、笠智衆(俳優)、須賀敦子(文学者)らとともに、「八重子のハミング」を出版した、元・萩市教育長の陽信孝さんを取り上げています。

価格 819円(新書判)

■朝刊紙「SANKEI EXPRESS」連載「吉田松陰人と言葉くひとすじの螢火」

産経新聞社から昨年11月に創刊されたタブロイド紙の11面に、激動の幕末を駆け抜けた松陰の人生が、松陰の言葉を軸に描かれています。(月曜日～金曜日に連載)

宅配エリア 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県の首都圏と京都市

購読料 月1680円

申し込み SANKEI EXPRESS  
(0120・919・005)

## プレゼント

①小川梨生産組合の小川梨「新雪」または「パスクラサン」を3名様

②松陰神社創建百年記念「吉田松陰2007カレンダー」(800円)を4名様

③萩陶芸家協会の116人を網羅した作家名鑑の増補版「萩の陶芸家たち」(2000円)を2名様

④萩博物館展示案内「萩のまちは屋根のない博物館」を3名様

申込方法 官製ハガキに希望品名、住所、氏名、電話番号、近況などを明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。締切は1月31日。

## 萩・椿まつり

約2万5000本のヤブツバキが咲き誇る笠山椿群生林で、2月17日(土)から恒例の「萩・椿まつり」が開幕します。

艶やかな緑の葉のかけから顔を覗かせる、赤やピンクの可憐な花に会いに行ってみませんか。

■とき 2月17日(土)～3月21日(水・祝)

■ところ 萩市笠山椿群生林

■主な内容 ▽初日と日曜日・祝日⇨郷土芸能披露、抹茶席など

■問い合わせ 萩市観光課  
(0838・25・3139)

■ガイド

椿の開花期間中の3月下旬までは、椿群生林内の見どころポイントをご案内します。

■申込方法 予約制(交通費として1000円必要)

※椿まつり期間中の土・日曜日、祝日(午前10時～午後4時)は、まつり本部(椿群生林内)で随時受付。

■申し込み  
萩観光ボランティア協会  
(0838・25・3527)

## ふるさと「萩」で働きませんか!

萩市民病院では、機能強化をめざして、平成19年4月採用の職員募集を行っています。萩へUターン、Iターン、Jターンをお考えの方へ是非、この情報をお知らせください!!

詳しくは、「萩市公式ホームページ」をご覧ください。萩市総務課へ直接お問い合わせください。

募集期間 平成18年12月15日～平成19年1月12日

募集職種 看護師、薬剤師、管理栄養士  
【萩市公式ホームページ】 <http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/hagicity/>  
【萩市総務課】 ☎0838・25・1239



# 長州ファイブ

## 東京のゆかりの地を巡る②

近代日本の礎を築いた長州ファイブ。英国に密航留学後は、東京を中心に活躍しました。それでは東京にあるゆかりの地を巡っていきましょう。



りんしょういん

### 麟祥院・遠藤謹助墓所

【文京区湯島】東京メトロ千代田線・湯島駅  
1・3番出口より徒歩6分



### 春日局墓所・東洋大学発祥の地

～28歳で英国へ密航、造幣局長となる～

#### 遠藤 謹助(1836～1893)

造幣局長として近代的貨幣製造技術の向上に貢献し、桜並木の「通り抜け」を発案。麟祥院は徳川3代将軍家光の乳母春日局の菩提寺。遠藤謹助の墓所もあり、遠藤の墓石に刻まれた文字は伊藤博文のもの。東洋大学発祥の地でもある。

### 毛利庭園・長府毛利藩邸跡

【港区六本木】東京メトロ日比谷線六本木駅  
1番出口より徒歩7分



### 六本木ヒルズの中に、池と緑の美しい日本庭園

六本木ヒルズにあるテレビ朝日本社の敷地は、かつて長府藩毛利家の下屋敷があった場所。公園は、面積4300㎡と広大な回遊式の日本庭園に整備され、散策の楽しめる憩いの緑地として親しまれている。近くの旧防衛庁敷地(東京ミッドタウン)や檜町公園は、萩の名家である長州藩毛利家の下屋敷があった場所。

### 松陰神社・吉田松陰墓所

【世田谷区若林】東急世田谷線松陰神社前駅  
より徒歩4分



### 南千住から若林へ

～幕末の思想家、教育者～

#### 吉田 松陰(1830～1859)

松陰の遺骸は、小塚原(荒川区南千住)に埋められたが、文久3年(1863年)高杉晋作や伊藤博文らの手により、掘り起こされ、若林村(世田谷区若林)に改葬された。明治15年(1882年)、松陰神社が創建された。

## 萩産のナマコは、高級な「赤」が主流

## 萩発 旬の味覚便り

### なまこ (マナマコ)



海鼠と書いてナマコ、漁師さんたちのあいだでは、「たあらご」(俵子)と呼ばれることがあります。米俵を小さくした形の意味ですが、この呼び名のほうが「海の鼠」より実像に近いと思います。山口県で水揚げされるナマコは、萩では高級種とされる赤ナマコが主流、価格も赤のほうが高いですが、赤・青は同一種、生息域の違いで色が違うといわれます。比較的深場で岩礁の多いところに棲むのが赤ナマコ、磯の香りがして、青ナマコより柔らかい。明治の頃は、うたせ網を帆かけ舟で引いてナマコを獲っていた記録がありますが、現在の漁獲法は非常に高価です。

海鼠と書いてナマコ、漁師さんたちのあいだでは、「たあらご」(俵子)と呼ばれることがあります。米俵を小さくした形の意味ですが、この呼び名のほうが「海の鼠」より実像に近いと思います。山口県で水揚げされるナマコは、萩では高級種とされる赤ナマコが主流、価格も赤のほうが高いですが、赤・青は同一種、生息域の違いで色が違うといわれます。比較的深場で岩礁の多いところに棲むのが赤ナマコ、磯の香りがして、青ナマコより柔らかい。明治の頃は、うたせ網を帆かけ舟で引いてナマコを獲っていた記録がありますが、現在の漁獲法は非常に高価です。

は主に潜水漁と舟からほこ鉾や網で捕るイサリ漁。漁獲されたナマコは海水を入れた袋に入れて萩の市場に入荷、活きたままセリにかけられます。料理は、生のナマコを薄く切って、三杯酢やポン酢でいただくのが一般的。内臓を丁寧に除去して、できるだけ薄くスライスするのが料理のコツです。番茶で軽く煮て調味料に漬け込む「茶ぶり」は古来から伝わる料理法。酒の肴として有名な「コノコ」は赤黄色をしたナマコの卵巣の塩漬け、「コノワタ」はナマコの腸の塩漬け、いずれも1匹のナマコからほんの数gとごく少量しか取れないため、非常に高価です。